

第21回全国障害者スポーツ大会開催基本方針（案）について

第21回全国障害者スポーツ大会は、障がいがある人もない人もスポーツを通じて、障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加を一層推進するとともに、大会のときめきを大切に、人や地域がいつまでも若々しく輝き続ける未来をめざすため、「とこわか」に願いを込めて、次の4つを基本方針とします。

㊦も（共）に競い合い、友のところにふれあう大会

選手同士お互いに競争心をもって「もっと高く もっと強く もっと速く」競い合いますが、その競争が終われば、同じ競技を愛する仲間同士です。今後のさらなる向上をめざすとともに、交流を深める大会にします。

㊧の感動、この喜びをすべての人と分かち合う大会

競技をする選手、選手を支えるスタッフ、選手を応援する人、障がいのある人もない人もそこに集う人すべてが力いっぱい活動することにより、様々な感動を体感し、お互いの健闘をたたえ、喜びを共感する大会にします。

㊨たしたち一人ひとりがおもてなし心で迎える大会

全国障害者スポーツ大会に参加するすべての人に、オール三重県で心から出迎え、熱い競技が展開できるように努めるとともに、新たな交流を築く大会とします。

㊩こ（過去）から未来へ語り継ぐ大会

新たな正式競技をこの大会から加え、大会のときめきを大切に、人や地域がいつまでも若々しく輝き続ける未来へと繋ぎ、これからも地域での温かな取組を語り継ぐ大会とします。